

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2016年2月号(第14号)



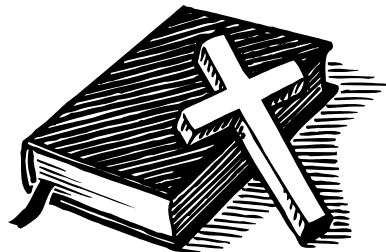
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられました。二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。

【ヘブル人への手紙 9章 27-28節】

人の死に接しますと、非常に厳粛な思いと不思議な気持ちにさせられます。それが親しい人の場合、特にそのことを感じます。暖かかった身体は冷たくなり、言葉を発し、呼吸していた口からは何も発せられなくなる。自分にもいつかこの日が来るのかと思うと、不思議な気持ちになります。

今月の聖書のことばには「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」とあります。聖書は、輪廻転生ではなく、各々の人間は「一度」死に、さばきにおいて神と直面すると教えます。そのように死を経験することは、イエス・キリストも同じでした。今月の聖書のことばには、「キリストも、多くの人の罪を負うた

めに一度、ご自身をささげられましたが、二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。」とあります。イエス・キリストも十字架の死を経験しました。十字架刑は、ローマ帝国の処刑方法であり、最も残酷な処刑方法とされています。聖書は、人間の死は定められていると言いますが、イエス・キリストの死については、自発的なものであったと述べています。今月の聖書のことばには、十字架の死の目的も明確に記されています。それは、「多くの人の罪を負うため」でした。ここから分かることは、イエス・キリストは、何か罪を犯したから死んだのではなく、悪事を働いたから死んだ

のでもないということです。イエス・キリストは、多くの人の罪を背負って死に、十字架上で人間が受けるべき神の怒りを身代わりとして受けられたのです。そして、罪を背負ったイエス・キリストは、神から罪人とみなされ、十字架上で神から見捨てられました。ですから、十字架上でイエス・キリストは、「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」(マタイの福音書 27:46)と叫ばれました。聖書の他の箇所には、「だが、私たちは思った。彼(イエス・キリスト)は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた」(イザヤ書 53:4-5)。イエス・キリストの十字架による懲らしめは、私たちに平安をもたらすためのものであり、イエス・キリストの十字架の打ち傷によって、私たちは救い出される

(いやされる)と聖書は教えます。人間が受けるべき刑罰は、すでにイエス・キリストが受けて下さっています。そして、人間の罪は十字架に釘付けにされ、無効にされています。そこで私たち人間に求められている応答は、ただ一つです。それは、「信じる」ということです。このイエス・キリストを信じることで(少し言い方を変えますと「心に受け入れる」)。何か善行をして救われるものではありません。唯一、イエス・キリストを信じるということです。これは、老若男女問わず、身体が元気な人もそうでない人も、誰もが出来ることです。ここに神の憐れみを感じます。どうか、このイエス・キリストを心に迎え入れてください。

◆コラム

先月のコラムで箱根駅伝について書きましたが、なんと下馬評通り青山学院の圧勝でした。昨年優勝し、優勝候補筆頭に挙げられた中、よくプレッシャーに打ち勝ち、全員が力を発揮したとなあと感心しました。凄い!の一言です。また、今後の注目校ですが、駅伝マニア曰く、東海大学らしいです。良い選手が入学するとか。5区の距離も短くなるようですので、どうなることやら、今から楽しみです。ところで、あの「山の神」という名称はどうにかならないものでしょうか。毎年観戦していて、唯一そこだけが引っかけちゃいます。

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 10:30～12:00
教会学校 9:00～10:00

○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
19:30～21:00

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。